



Q. 扶助費の廃止・縮小は暮らしを直撃 A. 支給対象の検証、所得制限の導入を提言

野崎 隆子 議員



有識者懇談会からの提言書

Q 暮らしを支援する制度の廃止や縮小する前に、町長、議員等の給与報酬（部事務組合を含む）期末手当、入札価格の適正化など、やるべき事があるのではないか。

有識者懇談会の提言と影響を、各事業ごとの詳細を明らかにされたい。扶助費の廃止・縮小の撤回を強く求める。

A 今年度、「豊山町行財政運営に関する有識者懇談会」で扶助費の見直しについて審議され、対象11事業の内、継続4事業、見直し6事業、廃止1事業の評価を受けた。

扶助費全体の見直しの方向性として、支給対象範囲及び支給金額の妥当性を検証すべきことや、所得制限の導入を検討すべきことが提言された。

Q. 介護・後期高齢者医療保険料の負担増さげよ

A. まだ、未確定の段階にある

Q 除料

・来年度の介護保険料

保険準備基金からの繰入額、多段階設定の比較検討を行っており、まだ未確定の段階にある。

① 剰余金3330万円の取り崩しはどうか。
② 県の基金は豊山町にいくら来る予定か。

今後、作業を進め、24年1月下旬に開催する高齢者保健福祉審議会に保険料の改定に係る諮問を行う予定である。

③ 保険料徴収所得区分は、基準額を抑えるため、上に多段階化の検討を。

後期高齢者医療保険料は、平成22・23年度に続き、今回で2回目の改定となる。平成24・25年度に係る保険料は現在、愛知県後期高齢者医療広域連合で保険料額の改定に向けた検討が行われている。

・後期高齢者医療保険料値上げ検討中のような。「年金が減っているのにまた上がるの」住民の声を聴き、抑制を求めよ。

（その他の質問）
・特定健診料の無料化

A

第5期介護保険事業計画における

第1号被保険者・介護保険料の算定は、現在、厚生労働省及び県の指示事項の調整中。介護

第1号被保険者・介護保険料の算定は、現在、厚生労働省及び県の指示事項の調整中。介護

（その他の質問）
・特定健診料の無料化